

# 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2008年12月10日設定）
運用方針	世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型） 新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド 相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド 豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド（毎月決算型） 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日（決算日が休日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

## 運用報告書（全体版）

- 第190期（決算日 2024年12月24日）  
第191期（決算日 2025年1月24日）  
第192期（決算日 2025年2月25日）  
第193期（決算日 2025年3月24日）  
第194期（決算日 2025年4月24日）  
第195期（決算日 2025年5月26日）

### 受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第190期から第195期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基 準 価 額 (分配額)	基 準 価 額		参 考 指 数	債組比	券入率	純資産額
			税込分配金	期中騰落率				
第29作成期	(第166期) 2022年12月26日	円 4,090	円 15	% △3.4	291.74	% △1.4	% 92.7	百万円 1,055
	(第167期) 2023年 1月24日	4,105	15	0.7	297.81	2.1	93.0	1,052
	(第168期) 2023年 2月24日	4,192	15	2.5	300.01	0.7	93.4	1,072
	(第169期) 2023年 3月24日	4,048	15	△3.1	297.71	△0.8	94.7	1,020
	(第170期) 2023年 4月24日	4,172	15	3.4	310.40	4.3	94.1	1,043
	(第171期) 2023年 5月24日	4,240	15	2.0	318.52	2.6	93.6	1,057
第30作成期	(第172期) 2023年 6月26日	4,415	15	4.5	338.89	6.4	92.9	1,077
	(第173期) 2023年 7月24日	4,382	15	△0.4	342.26	1.0	93.7	1,051
	(第174期) 2023年 8月24日	4,341	15	△0.6	341.55	△0.2	94.2	1,030
	(第175期) 2023年 9月25日	4,423	15	2.2	342.82	0.4	95.2	1,037
	(第176期) 2023年10月24日	4,298	15	△2.5	337.40	△1.6	94.7	975
	(第177期) 2023年11月24日	4,439	15	3.6	356.02	5.5	94.1	999
第31作成期	(第178期) 2023年12月25日	4,372	15	△1.2	348.80	△2.0	94.7	962
	(第179期) 2024年 1月24日	4,380	15	0.5	357.62	2.5	94.2	947
	(第180期) 2024年 2月26日	4,426	15	1.4	362.58	1.4	93.8	937
	(第181期) 2024年 3月25日	4,471	10	1.2	365.52	0.8	93.7	938
	(第182期) 2024年 4月24日	4,496	10	0.8	366.44	0.3	94.2	930
	(第183期) 2024年 5月24日	4,705	10	4.9	380.43	3.8	93.5	955
第32作成期	(第184期) 2024年 6月24日	4,673	10	△0.5	379.60	△0.2	93.9	939
	(第185期) 2024年 7月24日	4,543	10	△2.6	377.42	△0.6	93.2	897
	(第186期) 2024年 8月26日	4,260	10	△6.0	366.38	△2.9	92.6	836
	(第187期) 2024年 9月24日	4,290	10	0.9	369.99	1.0	93.6	838
	(第188期) 2024年10月24日	4,439	10	3.7	378.28	2.2	93.0	859
	(第189期) 2024年11月25日	4,462	10	0.7	377.77	△0.1	92.4	853
第33作成期	(第190期) 2024年12月24日	4,426	10	△0.6	380.06	0.6	91.7	833
	(第191期) 2025年 1月24日	4,478	10	1.4	382.33	0.6	91.2	816
	(第192期) 2025年 2月25日	4,382	10	△1.9	372.63	△2.5	90.7	781
	(第193期) 2025年 3月24日	4,316	10	△1.3	374.68	0.6	91.1	764
	(第194期) 2025年 4月24日	4,154	10	△3.5	365.90	△2.3	92.5	732
	(第195期) 2025年 5月26日	4,271	10	3.1	375.47	2.6	91.8	747

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - EMグローバル・ダイバーシファイド)はJ.P. Morgan Securities LLC(J P モルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指標として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指標を採用しております。

## ◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	債組比	券入率
		円	%			
第190期	(期 首)2024年11月25日	4,462	—	377.77	—	92.4
	11月末	4,314	△3.3	370.83	△1.8	92.2
	(期 末)2024年12月24日	4,436	△0.6	380.06	0.6	91.7
第191期	(期 首)2024年12月24日	4,426	—	380.06	—	91.7
	12月末	4,456	0.7	381.10	0.3	91.7
	(期 末)2025年 1月24日	4,488	1.4	382.33	0.6	91.2
第192期	(期 首)2025年 1月24日	4,478	—	382.33	—	91.2
	1月末	4,436	△0.9	381.02	△0.3	91.2
	(期 末)2025年 2月25日	4,392	△1.9	372.63	△2.5	90.7
第193期	(期 首)2025年 2月25日	4,382	—	372.63	—	90.7
	2月末	4,341	△0.9	372.62	△0.0	90.6
	(期 末)2025年 3月24日	4,326	△1.3	374.68	0.6	91.1
第194期	(期 首)2025年 3月24日	4,316	—	374.68	—	91.1
	3月末	4,278	△0.9	377.24	0.7	91.0
	(期 末)2025年 4月24日	4,164	△3.5	365.90	△2.3	92.5
第195期	(期 首)2025年 4月24日	4,154	—	365.90	—	92.5
	4月末	4,188	0.8	368.54	0.7	92.4
	(期 末)2025年 5月26日	4,281	3.1	375.47	2.6	91.8

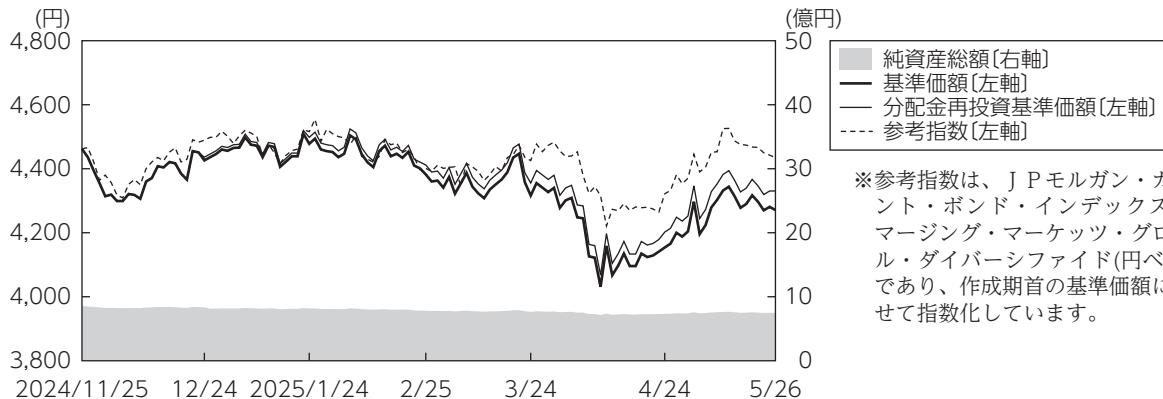
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移



第190期首(2024年11月25日): 4,462円

第195期末(2025年 5月26日): 4,271円(既払分配金60円)

騰落率: △2.9%(分配金再投資ベース)

\*分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\*騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

#### (上昇要因)

- 組入債券の利息が積み上がったこと

#### (下落要因)

- 組み入れているすべての通貨が円に対して下落したこと

#### 【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	△1.9%
豪ドル債マザーファンド	△4.4%

## ■ 投資環境

### 債券市場

#### (ブラジル)

当作成期のブラジル長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。インフレ率が上昇傾向で推移し、目標（3%）を大きく上回る水準で推移する中、中央銀行は2024年12月、2025年1月、3月、5月と4会合連続で政策金利を引き上げました。作成期首から12月にかけて利上げの織り込みや米国金利の上昇から上昇し、4月上旬にかけて高位でもみ合いました。その後は米国大統領による相互関税の発出による景気減速懸念から低下ましたが、低下幅は限られました。

#### (メキシコ)

当作成期のメキシコ長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。インフレ率が低下傾向で推移し、足下は目標（2~4%）水準で推移する中、中央銀行は最大の貿易相手国である米国の関税強化による景気減速懸念などから12月、2月、3月、5月と4会合連続で政策金利を引き下げました。長期金利は利下げを織り込む形で4月初旬にかけて低下しました。その後作成期末にかけて上昇しましたが、戻りは限られました。

#### (トルコ)

当作成期のトルコ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。公式発表インフレ率の低下を受けて同国の中銀は12月から利下げを開始し、長期金利は1月にかけて低下しました。しばらく小動きとなりましたが、3月中旬に強権的大統領が政敵であるイスタンブール市長を拘束すると政治の先行き不透明感によるトルコ国債を売る動きから長期金利は急騰し、その後も高水準で推移しました。

#### (南アフリカ)

当作成期の南アフリカ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。インフレ率が概ね目標（3~6%）の下限近くで推移する中、中央銀行は1月に政策金利を引き下げました。利下げが行われたものの、国営企業の赤字、債務返済コストの上昇などによる根強い財政懸念に加えて、米国大統領の関税強化によるインフレ懸念もあり、4月上旬にかけて上昇しました。その後作成期末にかけて低下ましたが、低下幅は限られました。

#### (オーストラリア)

当作成期のオーストラリア長期金利は小幅に低下（債券価格は上昇）しました。当作成期はインフレ率が概ね目標（2~3%）の範囲で推移する中、中央銀行は2月に政策金利の引き下げを開始し、5月に追加利下げを行ないました。利下げを織り込む動きがある一方で、米国大統領の関税強化によるインフレ懸念もあり、長期金利は概ねもみ合いとなる中、前作成期末対比で小幅に低下しました。

## ● 為替市場

### (ブラジルレアル)

当作成期のブラジルレアルは円に対して下落しました。ブラジル、日本とともに金融政策が引き締め方向で推移する中、作成期首から2025年4月初旬にかけてもみ合いとなりましたが、米国大統領が相互関税を発出するとリスク回避通貨として円を買う動きが強まり、ブラジルレアルは下落しました。その後買い戻しの動きもありましたが、前作成期末対比では下落しました。

### (メキシコペソ)

当作成期のメキシコペソは円に対して下落しました。当作成期はメキシコが4回の利下げを行う一方で、日本は1回の利上げを行うという金融政策の方向性の違いから4月初旬にかけて下落しました。その後は反発しましたが戻りは限られました。

### (トルコリラ)

当作成期のトルコリラは円に対して下落しました。公式発表のインフレ率は低下したとはいえ前年比+30%～40%台と高水準で推移する中、中央銀行は50%の政策金利を2024年12月から2025年3月にかけて3回引き下げ42.5%としました。大統領が政敵のイスタンブール市長を拘束するなど政治の不透明感が高まる中、4月には通貨安と物価高を考慮して利上げに転じましたが、インフレ懸念は根強くトルコリラは対円で軟調に推移しました。

### (南アフリカランド)

当作成期の南アフリカランドは円に対して下落しました。当作成期はインフレ率が概ね目標（3～6%）の下限近くで推移する中、中央銀行は1月に政策金利を引き下げました。同国と日本の金融政策の方向性の違いや米国大統領の相互関税の発出などにより、南アフリカランドは円に対して下落しました。

### (豪ドル)

当作成期の豪ドルは円に対して下落しました。作成期首から4月初旬にかけてRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げの開始、米ドルの下落、米国大統領の相互関税発出によるリスク回避通貨としての円買いなどから下落基調となりました。その後は豪ドルを買い戻す動きとなりましたが、戻りは限られました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

- 作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。
- 当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね80%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね20%程度組み入れました。

### 【信託財産の状況】

	作成期首	作成期末
外国債券	92.4%	91.8%
経過利息、現金等その他	7.6%	8.2%
組入銘柄数	16	16
デュレーション	2.1年	1.9年
残存年数	2.3年	2.1年
複利利回り	14.1%	14.6%
格付 A a a	100.0%	100.0%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターーズ・サービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のこと、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。

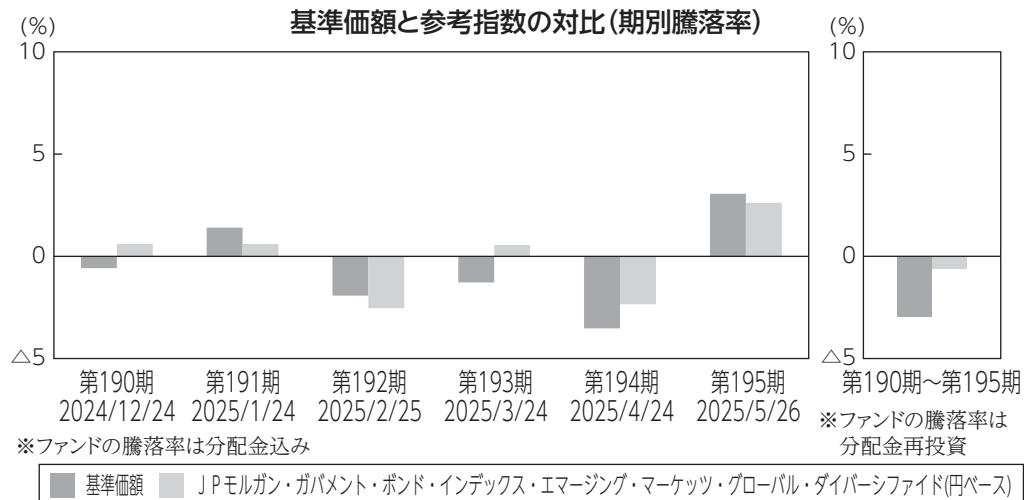
### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a格相当の格付けを取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首1.9年でしたが、作成期末を1.7年としました。

### 豪ドル債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付けを取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首2.9年でしたが、作成期末を2.7年としました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



- 当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
- 上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は△2.9%となり、参考指標の騰落率は△0.6%となりました。

## ■ 分配金

- 当ファンドの収益分配金は分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表の通りとさせていただきました。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設げず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2024年11月26日～ 2024年12月24日	2024年12月25日～ 2025年1月24日	2025年1月25日～ 2025年2月25日	2025年2月26日～ 2025年3月24日	2025年3月25日～ 2025年4月24日	2025年4月25日～ 2025年5月26日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.225	10 0.223	10 0.228	10 0.231	10 0.240	10 0.234
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	818	847	874	894	920	951

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ・高金利国際機関債ファンド（毎月決算型）

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドへの投資を通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

### ・新興国通貨建国際機関債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率を高位に維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

### ・豪ドル債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	第190期～第195期		項目の概要	
	2024年11月26日～2025年5月26日			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	26円	0.603%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は4,335円です。	
	(12)	(0.274)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価	
	(13)	(0.302)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
	(1)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
(b) その他費用	1	0.019	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数	
	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用	
	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用	
合計	27	0.622		

(注1)作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

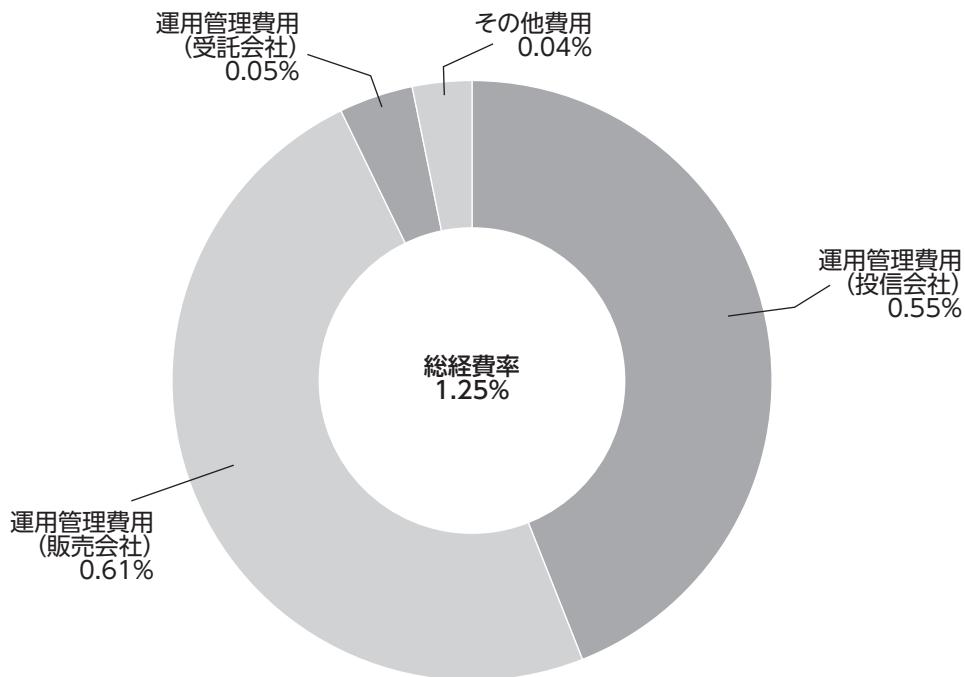
(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◎売買及び取引の状況(2024年11月26日～2025年5月26日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 190 期 ～ 第 195 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 一	千円 —	千口 32,966	千円 67,000
豪 ド ル 債 マ ザ 一 フ ア ン ド	—	—	7,349	20,000

(注)単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2024年11月26日～2025年5月26日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第32作成期末		第 33 作 成 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 324,053	千円 580,716	千口 291,086	千円 138,761
豪 ド ル 債 マ ザ 一 フ ア ン ド	58,173		50,824	

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

2025年5月26日現在

項目	第33作成期末	
	評価額	比率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	580,716	77.3%
豪ドル債マザーファンド	138,761	18.5%
コール・ローン等、その他	31,323	4.2%
投資信託財産総額	750,800	100.0%

(注1)評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(570,400千円)の投資信託財産総額(580,709千円)に対する比率は98.2%です。

(注3)豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(135,011千円)の投資信託財産総額(138,761千円)に対する比率は97.3%です。

(注4)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=142.74円、1メキシコペソ=7.4388円、1ブラジルレアル=25.2683円、1トルコリラ=3.6715円、1オーストラリアドル=92.87円、1南アフリカランド=8.01円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月24日現在 2025年1月24日現在 2025年2月25日現在 2025年3月24日現在 2025年4月24日現在 2025年5月26日現在

項目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
(A) 資産	839,378,577円	821,449,358円	790,304,699円	769,318,830円	734,987,723円	750,800,873円
コール・ローン等	33,288,330	33,102,428	38,640,280	26,955,532	28,812,279	31,322,101
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	643,063,983	634,936,985	602,009,218	593,215,791	570,269,982	580,716,939
豪ドル債マザーファンド(評価額)	163,026,164	153,409,846	149,654,831	149,147,249	135,905,186	138,761,533
未 収 利 息	100	99	370	258	276	300
(B) 負債	5,806,916	4,766,153	9,117,543	4,518,622	2,533,704	3,156,716
未 払 収 益 分 配 金	1,883,500	1,823,735	1,782,852	1,772,181	1,763,418	1,750,526
未 払 解 約 金	3,118,997	2,099,530	6,479,418	2,047,987	4,154	607,385
未 払 信 託 報 酬	800,791	839,082	851,414	695,302	762,679	795,199
そ の 他 未 払 費 用	3,628	3,806	3,859	3,152	3,453	3,606
(C) 純資産総額(A-B)	833,571,661	816,683,205	781,187,156	764,800,208	732,454,019	747,644,157
元 本	1,883,500,324	1,823,735,193	1,782,852,446	1,772,181,091	1,763,418,051	1,750,526,349
次期繰越損益金	△1,049,928,663	△1,007,051,988	△1,001,665,290	△1,007,380,883	△1,030,964,032	△1,002,882,192
(D) 受益権総口数	1,883,500,324口	1,823,735,193口	1,782,852,446口	1,772,181,091口	1,763,418,051口	1,750,526,349口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,426円	4,478円	4,382円	4,316円	4,154円	4,271円

(注1)当ファンドの第190期首元本額は1,911,556,539円、第190～195期中追加設定元本額は8,928,629円、第190～195期中一部解約元本額は169,958,819円です。

(注2)1口当たり純資産額は、第190期0.4426円、第191期0.4478円、第192期0.4382円、第193期0.4316円、第194期0.4154円、第195期0.4271円です。

(注3)純資産総額が元本額を下回っており、その額は第190期1,049,928,663円、第191期1,007,051,988円、第192期1,001,665,290円、第193期1,007,380,883円、第194期1,030,964,032円、第195期1,002,882,192円です。

## ◎損益の状況

[自 2024年11月26日] [自 2024年12月25日] [自 2025年1月25日] [自 2025年2月26日] [自 2025年3月25日] [自 2025年4月25日]  
 [至 2024年12月24日] [至 2025年1月24日] [至 2025年2月25日] [至 2025年3月24日] [至 2025年4月24日] [至 2025年5月26日]

項目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
(A) 配 当 等 収 益	2,258円	2,381円	6,942円	7,474円	6,449円	7,859円
受 取 利 息	2,258	2,381	6,942	7,474	6,449	7,859
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,223,698	12,220,938	△ 14,554,181	△ 9,246,182	△ 26,032,910	23,076,523
売 買 益	174,236	12,327,577	125,709	53,560	159,776	23,303,304
売 買 損	△ 4,397,934	△ 106,639	△ 14,679,890	△ 9,299,742	△ 26,192,686	△ 226,781
(C) 信 託 報 酬 等	△ 804,419	△ 842,888	△ 855,273	△ 698,454	△ 766,132	△ 798,805
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	△ 5,025,859	11,380,431	△ 15,402,512	△ 9,937,162	△ 26,792,593	22,285,577
(E) 前 期 緑 越 損 益 金	△ 510,241,890	△ 500,360,312	△ 479,437,408	△ 493,272,925	△ 502,020,475	△ 526,214,932
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 532,777,414	△ 516,248,372	△ 505,042,518	△ 502,398,615	△ 500,387,546	△ 497,202,311
(配 当 等 相 当 額)	( 18,831,637)	( 18,336,558)	( 18,029,596)	( 18,028,717)	( 18,071,061)	( 18,073,597)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 551,609,051)	(△ 534,584,930)	(△ 523,072,114)	(△ 520,427,332)	(△ 518,458,607)	(△ 515,275,908)
(G) 計 (D+E+F)	△1,048,045,163	△1,005,228,253	△ 999,882,438	△1,005,608,702	△1,029,200,614	△1,001,131,666
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,883,500	△ 1,823,735	△ 1,782,852	△ 1,772,181	△ 1,763,418	△ 1,750,526
次期緑越損益金(G+H)	△1,049,928,663	△1,007,051,988	△1,001,665,290	△1,007,380,883	△1,030,964,032	△1,002,882,192
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 532,777,414	△ 516,248,372	△ 505,042,518	△ 502,398,615	△ 500,387,546	△ 497,202,311
(配 当 等 相 当 額)	( 18,834,758)	( 18,339,622)	( 18,031,849)	( 18,030,927)	( 18,074,413)	( 18,077,218)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 551,612,172)	(△ 534,587,994)	(△ 523,074,367)	(△ 520,429,542)	(△ 518,461,959)	(△ 515,279,529)
分 配 準 備 積 立 金	135,332,103	136,191,769	137,863,464	140,555,698	144,272,059	148,450,977
緑 越 損 益 金	△ 652,483,352	△ 626,995,385	△ 634,486,236	△ 645,537,966	△ 674,848,545	△ 654,130,858

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第190期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,795,834円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,834,758円)および分配準備積立金(130,419,769円)より分配対象収益は156,050,361円(10,000口当たり828円)であり、うち1,883,500円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第191期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,077,382円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,339,622円)および分配準備積立金(130,938,122円)より分配対象収益は156,355,126円(10,000口当たり857円)であり、うち1,823,735円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第192期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,608,522円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,031,849円)および分配準備積立金(133,037,794円)より分配対象収益は157,678,165円(10,000口当たり884円)であり、うち1,782,852円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第193期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,394,339円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,030,927円)および分配準備積立金(136,933,540円)より分配対象収益は160,358,806円(10,000口当たり904円)であり、うち1,772,181円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第194期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,304,156円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,074,413円)および分配準備積立金(139,731,321円)より分配対象収益は164,109,890円(10,000口当たり930円)であり、うち1,763,418円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第195期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,115,419円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(18,077,218円)および分配準備積立金(143,086,084円)より分配対象収益は168,278,721円(10,000口当たり961円)であり、うち1,750,526円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

## ◎収益分配金のお知らせ

決算期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
1万口当たりの分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

### ※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ※分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

#### 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

#### 【お知らせ】

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に運用状況に係る情報の提供について所定の整備を行いました。（2025年4月1日）

### 〈補足情報〉

下記は、新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体(291,086千口)の内容です。

後掲する当該マザーファンド運用報告書の決算日と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日現在における、マザーファンドの組入資産の内容を以下に記載しております。

### ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区分	額面金額	第33作成期末						
		評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 22,400	千メキシコペソ 19,468	千円 144,821	% 24.9	% —	% —	% 3.7	% 21.2
ブラジル	千ブラジルレアル 6,200	千ブラジルレアル 5,730	千円 144,791	% 24.9	% —	% —	% 9.2	% 15.7
トルコ	千トルコリラ 49,600	千トルコリラ 35,227	千円 129,336	% 22.3	% —	% —	% 3.1	% 19.2
南アフリカ	千南アフリカランド 18,330	千南アフリカランド 16,734	千円 134,045	% 23.1	% —	% —	% 8.5	% 14.6
合計	—	—	552,995	95.2	—	—	24.5	70.7

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

### ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

第33作成期末						
銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)			% 千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	INT BK RECON&DEV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	19,400	16,581	2027/ 3/13
	INT BK RECON&DEV 7.07%		7.07	3,000	2,887	2029/ 6/26
小計					144,821	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	INT BK RECON&DEV 5%	特殊債券 (除く金融債)	5.0	3,800	3,605	2026/ 1/22
	INT BK RECON&DEV 5.75%		5.75	1,400	1,200	2028/ 1/14
	INT BK RECON&DEV 9.5%		9.5	1,000	924	2029/ 2/ 9
小計					144,791	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
	COUNCIL OF EUROP 28%	特殊債券 (除く金融債)	28.0	21,000	17,459	2027/ 3/22
	EURO BK RECON&DV 0%		—	2,800	2,190	2026/ 1/26
	EURO BK RECON&DV 0%		—	20,000	10,728	2027/ 4/12
	EURO BK RECON&DV 28%		28.0	5,800	4,849	2027/ 9/27
小計					129,336	

第33作成期末						
銘柄名	種類	利 率	額面金額	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
		%	千円	千円	千円	千円
(南アフリカ)						
EUROPEAN INVT BK 8.75%	特殊債券 (除く金融債)	8.75	6,530	6,542	52,406	2025/ 8/18
INT BK RECON&DEV 0%		—	7,000	5,328	42,680	2028/12/29
INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	4,000	4,051	32,453	2026/12/21
INTL FIN CORP 8.25%		8.25	800	812	6,505	2029/ 4/ 2
小計					134,045	
合計					552,995	

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3)銘柄名にある「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「COUNCIL OF EUROPE」は「歐州評議会開発銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「歐州復興開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「歐州投資銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」です。

下記は、豪ドル債マザーファンド全体(50,824千口)の内容です。

後掲する当該マザーファンド運用報告書の決算日と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日現在における、マザーファンドの組入資産の内容を以下に記載しております。

#### ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区分	第33作成期末						
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率	
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,450	千オーストラリアドル 1,437	千円 133,507	% 96.2	% —	% —	% 96.2
合計	1,450	1,437	133,507	96.2	—	—	96.2

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

#### ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	第33作成期末						
	種類	利 率	額面金額	評価額		外貨建金額	邦貨換算金額
				%	千円		
(オーストラリア)							
ASIAN DEV BANK 3.4%	特殊債券 (除く金融債)	3.4	650	645	59,993	2027/9/10	
INT BK RECON&DEV 4.4%		4.4	370	374	34,791	2028/1/13	
INTERAMER DEV BK 3.15%		3.15	430	416	38,721	2029/6/26	
合計					133,507		

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3)銘柄名にある「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTERAMER DEV BK」は「米州開発銀行」です。

# 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

## 運用報告書

### 第16期

(決算日 2024年11月25日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2024年11月25日に第16期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	参 考 指 数		債組比	券入率	純 資 産 額
		期 謄	中 落 率			
(第12期) 2020年11月24日	円 13,972	% △11.8	272.97	% △ 1.7	% 96.2	百万円 1,134
(第13期) 2021年11月24日	13,949	△ 0.2	280.16	2.6	92.7	904
(第14期) 2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8	858
(第15期) 2023年11月24日	19,460	11.4	356.02	20.3	97.5	771
(第16期) 2024年11月25日	20,346	4.6	377.77	6.1	95.1	659

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2)JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(JPモルガンGB I-EMグローバル・ダイバーシファイド)はJ.P.Morgan Securities LLC(JPモルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指標として広く認知されているものであり、JPモルガンの知的財産です。JPモルガンは当ファンドの運用成果等に關し一切責任はありません。JPモルガンGB I-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指標を採用しております。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	参 考 指 数		債券組入率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2023年11月24日	円 19,460	% —	356.02	% — 97.5
11月末	19,192	△1.4	355.58	△0.1 97.7
12月末	19,028	△2.2	348.17	△2.2 97.5
2024年 1月末	19,376	△0.4	357.10	0.3 97.6
2月末	19,610	0.8	363.42	2.1 97.3
3月末	19,796	1.7	365.56	2.7 97.7
4月末	20,530	5.5	371.89	4.5 97.5
5月末	21,070	8.3	376.67	5.8 97.3
6月末	20,889	7.3	380.39	6.8 96.8
7月末	19,834	1.9	373.38	4.9 96.1
8月末	18,876	△3.0	364.09	2.3 96.3
9月末	19,304	△0.8	370.68	4.1 96.5
10月末	20,177	3.7	378.27	6.2 95.6
(期末)2024年11月25日	20,346	4.6	377.77	6.1 95.1

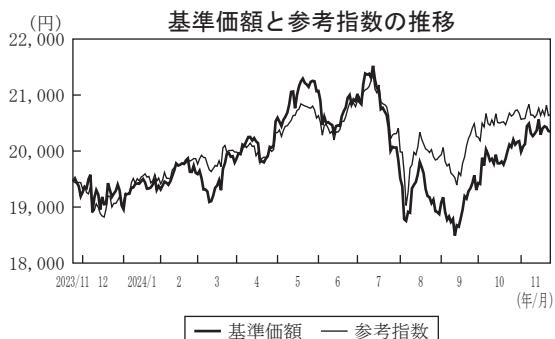
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2023年11月25日～2024年11月25日)

### 1 基準価額

#### 基準価額の推移と主要な変動要因



※参考指標は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首19,460円で始まり期末20,346円で終わりました。騰落率は+4.6%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・東欧や中東における地政学的リスクの高まりや米国大統領選挙を巡る先行き不透明感などを受けて金価格が上昇する中、2024年7月上旬にかけて産金国通貨である南アフリカランドが円に対して上昇したこと

#### (下落要因)

- ・当期後半に11月に控えた米国大統領選挙において主要候補の支持率が最後まで拮抗したことから共和党候補が掲げる関税引き上げなどの懸念が強まり、メキシコペソが円に対して下落するなど、南アフリカランドを除く組入通貨が円に対して下落したこと

### 2 運用経過

#### 運用概況

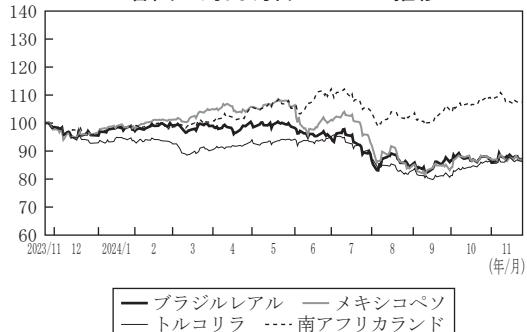
期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてAa相当格の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、国際復興開発銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

#### 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.5%	95.1%
経過利息、現金等その他	2.5%	4.9%
組入銘柄数	10	12
デュレーション	1.6年	1.9年
残存年数	1.7年	2.1年
複利利回り	14.1%	16.5年
格付		
Aaa	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

#### 各国の対円為替レートの推移



※各国の対円為替レート（対顧客電信売買相場の仲値等）は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国債機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2023年11月25日～2024年11月25日			
	金額	比率		
(a) その他費用	6円	0.031%	(a) その他費用＝期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は19,806円です。	
(保管費用)	(6)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	6	0.031		

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ◎売買及び取引の状況(2023年11月25日～2024年11月25日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外 国	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 2,764	千メキシコペソ 7,526
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルレアル 1,208	千ブラジルレアル 1,657
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 25,938	千トルコリラ 33,162
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 5,509	千南アフリカランド 9,777

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2023年11月25日～2024年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

### ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
メキシコ	千メキシコペソ 25,500	千メキシコペソ 20,738	千円 157,303	% 23.9	% —	% —	% 23.9	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 6,200	千ブラジルレアル 5,689	千円 151,070	% 22.9	% —	% —	% 4.8	% 18.1
トルコ	千トルコリラ 52,000	千トルコリラ 35,811	千円 160,143	% 24.3	% —	% —	% 19.2	% 5.1
南アフリカ	千南アフリカランド 20,330	千南アフリカランド 18,484	千円 158,231	% 24.0	% —	% —	% 12.9	% 11.1
合計	—	—	626,747	95.1	—	—	60.8	34.3

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)一印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

当 期 末						
銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	評 價 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
INT BK RECON&DEV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	22,500	17,991	136,461	2027/ 3/13
INT BK RECON&DEV 7.07%		7.07	3,000	2,747	20,841	2029/ 6/26
小 計					157,303	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
EUROPEAN INVNT BK 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	1,000	944	25,076	2025/ 6/12
INT BK RECON&DEV 5%		5.0	3,800	3,549	94,261	2026/ 1/22
INT BK RECON&DEV 5.75%		5.75	1,400	1,195	31,731	2028/ 1/14
小 計					151,070	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
COUNCIL OF EUROP 28%	特殊債券 (除く金融債)	28.0	21,000	18,412	82,340	2027/ 3/22
EURO BK RECON&DV 0%		—	11,000	7,545	33,744	2026/ 1/26
EURO BK RECON&DV 0%		—	20,000	9,852	44,058	2027/ 4/12
小 計					160,143	
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
EUROPEAN INVNT BK 8.75%	特殊債券 (除く金融債)	8.75	8,530	8,538	73,089	2025/ 8/18
INT BK RECON&DEV 0%		—	7,000	5,096	43,621	2028/12/29
INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	4,000	4,044	34,616	2026/12/21
INTL FIN CORP 8.25%		8.25	800	806	6,902	2029/ 4/ 2
小 計					158,231	
合 計					626,747	

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨てて。

(注3)銘柄名にある「INT BK RECON&amp;DEV」は「国際復興開発銀行」・「EUROPEAN INVNT BK」は「欧州投資銀行」・「COUNCIL OF EUROP」は「欧州評議会開発銀行」・「EURO BK RECON&amp;DV」は「欧州復興開発銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」です。

## ◎投資信託財産の構成

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	626,747	95.1
コール・ローン等、その他	32,561	4.9
投 資 信 託 財 产 總 額	659,308	100.0

(注1)評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)当期末における外貨建純資産(656,122千円)の投資信託財産総額(659,308千円)に対する比率は99.5%です。

(注3)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、当期末における邦貨換算レートト  
は1米ドル=154.25円、1メキシコペソ=7.585円、1ブラジルレアル=26.5529円、1トルコリラ=4.4719円、1南アフリカランド=8.56円  
です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	円 659,308,194
コール・ローン等	△ 11,840,153
公 社 債(評価額)	626,747,779
未 収 入 金	15,029,162
未 収 利 息	24,987,982
前 払 費 用	4,383,424
(B) 純 資 産 總 額(A)	659,308,194
元 本	324,053,143
次 期 繰 越 損 益 金	335,255,051
(C) 受 益 權 總 口 数	324,053,143口
1万口当たり基準価額(B/C)	20,346円

(注1)当親ファンドの期首元本額は396,609,226円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は72,556,083円です。

(注2)当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)324,053,143円です。

(注3)1口当たり純資産額は2,0346円です。

(注4)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6)損益の状況の中で(F)解約差損益金があるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ◎損益の状況

自  
2023年11月25日  
至  
2024年11月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	円 99,276,472
受 取 利 息	99,278,656
支 払 利 息	△ 2,184
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 66,541,953
売 買 益	23,511,379
売 買 損	△ 90,053,332
(C) 信 託 報 酬 等	△ 222,240
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	32,512,279
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	375,186,689
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 72,443,917
(G) 計 (D+E+F)	335,255,051
次 期 繰 越 損 益 金(G)	335,255,051

# 豪ドル債マザーファンド

## 運用報告書

### 第16期

(決算日 2024年11月25日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2024年11月25日に第16期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	参 考 指 数		債組比	券入率	純 資 総 産 額
		期 謄	中 落 率			
(第12期) 2020年11月24日	円 21,242	% 6.2	344.99	% 6.7	% 97.3	百万円 282
(第13期) 2021年11月24日	22,736	7.0	357.24	3.6	97.6	239
(第14期) 2022年11月24日	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	214
(第15期) 2023年11月24日	26,788	7.8	376.54	2.9	97.1	194
(第16期) 2024年11月25日	28,566	6.6	403.73	7.2	96.9	166

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合收益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	参 考 指 数		債券組入率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2023年11月24日	円 26,788	% —	% 376.54	% 97.1
11月末	26,618	△ 0.6	376.99	0.1 97.0
12月末	26,653	△ 0.5	387.70	3.0 96.7
2024年 1月末	26,787	△ 0.0	383.99	2.0 96.4
2月末	27,082	1.1	387.60	2.9 96.6
3月末	27,407	2.3	396.55	5.3 96.3
4月末	28,551	6.6	402.23	6.8 96.1
5月末	28,958	8.1	408.89	8.6 96.2
6月末	29,770	11.1	422.31	12.2 98.2
7月末	27,990	4.5	397.98	5.7 97.8
8月末	27,973	4.4	403.22	7.1 97.7
9月末	28,179	5.2	405.31	7.6 97.4
10月末	28,492	6.4	403.68	7.2 97.2
(期末)2024年11月25日	28,566	6.6	403.73	7.2 96.9

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2023年11月25日～2024年11月25日)

### 1 基準価額

#### 基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は期首26,788円で始まり期末28,566円で終わりました。騰落率は+6.6%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・オーストラリアにおいて、根強いインフレ長期化懸念を背景に中央銀行が政策金利を4.35%で据え置きとしたことを受けて、利下げを開始した他の先進国と比較して高水準の政策金利を今後も維持するとの期待の強まりから、豪ドルが円に対して上昇したこと

### 2 運用経過

#### 運用概況

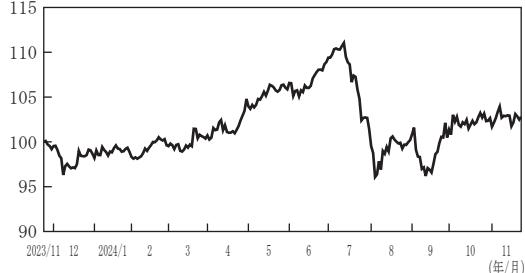
期首の運用方針に基づき、取得時においてAaa相当格の格付を取得している豪ドル建国機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては、アジア開発銀行、国際復興開発銀行、米州開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

#### 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.1%	96.9%
経過利息、現金等その他	2.9%	3.1%
組入銘柄数	4	4
デュレーション	1.1年	2.9年
残存年数	1.2年	3.1年
複利利回り	4.8%	4.5%
格付		
Aaa	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

#### 豪ドルの対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、米州開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2023年11月25日～2024年11月25日			
	金額	比率		
(a) その他費用	14円	0.051%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は27,871円です。	
(保管費用)	(13)	(0.048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(その他)	( 1 )	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	14	0.051		

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2023年11月25日～2024年11月25日)

### ○公社債

		買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 1,415

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2023年11月25日～2024年11月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

## ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区分	額面金額	当期						期末		
		評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率				
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満		
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,640	千オーストラリアドル 1,595	千円 161,080	% 96.9	% —	% —	% 85.6	% 11.4		
合計	1,640	1,595	161,080	96.9	—	—	85.6	11.4		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	額面金額	当期		期末	償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
ASIAN DEV BANK 3.4%	特殊債券 (除く金融債)	3.4	650	633	63,963	2027/ 9/10	
INT BK RECON&DEV 2.9%		2.9	190	187	18,895	2025/11/26	
INT BK RECON&DEV 4.4%		4.4	370	369	37,291	2028/ 1/13	
INTERAMER DEV BK 3.15%		3.15	430	405	40,930	2029/ 6/26	
合計					161,080		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「INT BK RECON&amp;DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTERAMER DEV BK」は「米州開発銀行」です。

## ◎投資信託財産の構成

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	161,080	96.9
コール・ローン等、その他	5,098	3.1
投 資 信 託 財 产 總 額	166,178	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(163,000千円)の投資信託財産総額(166,178千円)に対する比率は98.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=100.99円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	円 166,178,366
コール・ローン等	3,178,200
公 社 債(評価額)	161,080,577
未 収 利 息	1,919,589
(B) 純 資 産 總 額(A)	166,178,366
元 本	58,173,767
次期繰越損益金	108,004,599
(C) 受 益 權 總 口 数	58,173,767口
1万口当たり基準価額(B/C)	28,566円

(注1) 当親ファンドの期首元本額は72,538,434円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は14,364,667円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)58,173,767円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2,8566円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金があるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ◎損益の状況

自 2023年11月25日  
至 2024年11月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	円 6,662,072
受 取 利 息	6,663,164
支 払 利 息	△ 1,092
(B) 有 価 證 券 売 買 損 益	5,290,152
売 買 益	7,774,928
売 買 損	△ 2,484,776
(C) 信 託 報 酬 等	△ 91,028
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	11,861,196
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	121,778,736
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 25,635,333
(G) 計 (D+E+F)	108,004,599
次期繰越損益金(G)	108,004,599